

平成30年12月19日開催 第14回県政ランチミーティングに寄せられた ご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成30年12月19日(水) 12:00～13:00
- ・会場 県庁3階 第3応接室
- ・参加グループ 病気療養児の教育支援を考える会
- ・懇談内容 長期入院児童生徒に対する学習支援等の取組みについて

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) 学校と病院側をつなぐコーディネーターの設置について

(ご意見の概要)

病気等で長期入院したとしても、義務教育には病院（患者）と学校の架け橋となるコーディネーターがいる。高校生に対してもそういう人がほしい。病院は病気を治すところ、学校は勉強するところ、という括りの隙間に目を向けてほしい。

闘病では「学校や同級生とどこかでつながっている」という心の部分が大きな支えとなる。

(知事の発言)

スクールソーシャルワーカーとか、そういった人たちの中で医療もわかる人にコーディネートしてもらうのがいいのか、それとも専門の人を新たに設置するのがいいのか、具体的に考えないといけない。

親御さんが学校と病院との調整をするのは大変だろうし、担任の先生は、他の生徒もいるので思うように動けないのではないかな。やはり病院と学校をつなぐコーディネーターが必要だと思う。

(ご意見等に対する対応状況)

従来からの訪問指導等に加え、ツールとしての遠隔教育を積極的に推進するとともに、生徒・保護者、学校、病院をつなぐコーディネーター的役割を担う人も含め、長期療養生徒の学習を支援する持続可能な仕組みづくりを進めてまいります。

【担当課：教育委員会 教育政策課、高校教育課、教学指導課】

(2) 支援体制の整理とその周知について

(ご意見の概要)

支援体制や仕組みを、病児だけでなく世間一般の誰もが知っているようにしてほしい。文部科学省で定める制度も踏まえ、教育委員会としても支援する仕組みづくりを進め、病児、学校にもしっかり周知してほしい。

(知事の発言)

教育委員会で、こういうやり方や選択肢があります、というのを分かりやすく整理してほしい。どういう選択肢があって、誰が応援してくれる人なのかが分かるだけでも、

病児やその関係者の方は気が楽になると思う。

(ご意見等に対する対応状況)

長期療養生徒がそれぞれのニーズに応じた支援が受けられるよう、支援策を分かりやすく整理し、生徒・保護者、病院等に周知してまいります。

【担当課：教育委員会 教育政策課、高校教育課、教学指導課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp